

The background features a large, glowing yellow sun or moon on the right side, set against a gradient sky transitioning from purple at the bottom to blue at the top. Numerous white stars of varying sizes are scattered across the sky. In the bottom left corner, there is a black silhouette of a castle with lit windows, two flying bats, and a graveyard with several crosses.

SANSHIN GROUP
Monthly Report on the CSR
Oct.2017

INDEX

1. サンシングループの経営理念とCSR
2. 管理会計をもちいた経営戦略
3. TOP MESSAGE
4. グループ社員による今月のつぶやき
5. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
6. サンシングループの企業行動基準
7. 未来形から問題を解決するソウレンホウ
8. CSR Report (品質)
9. CSR Report (環境)
10. CSR Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers

We're loved by our customers

*Always be a Virtuous **Shonin***

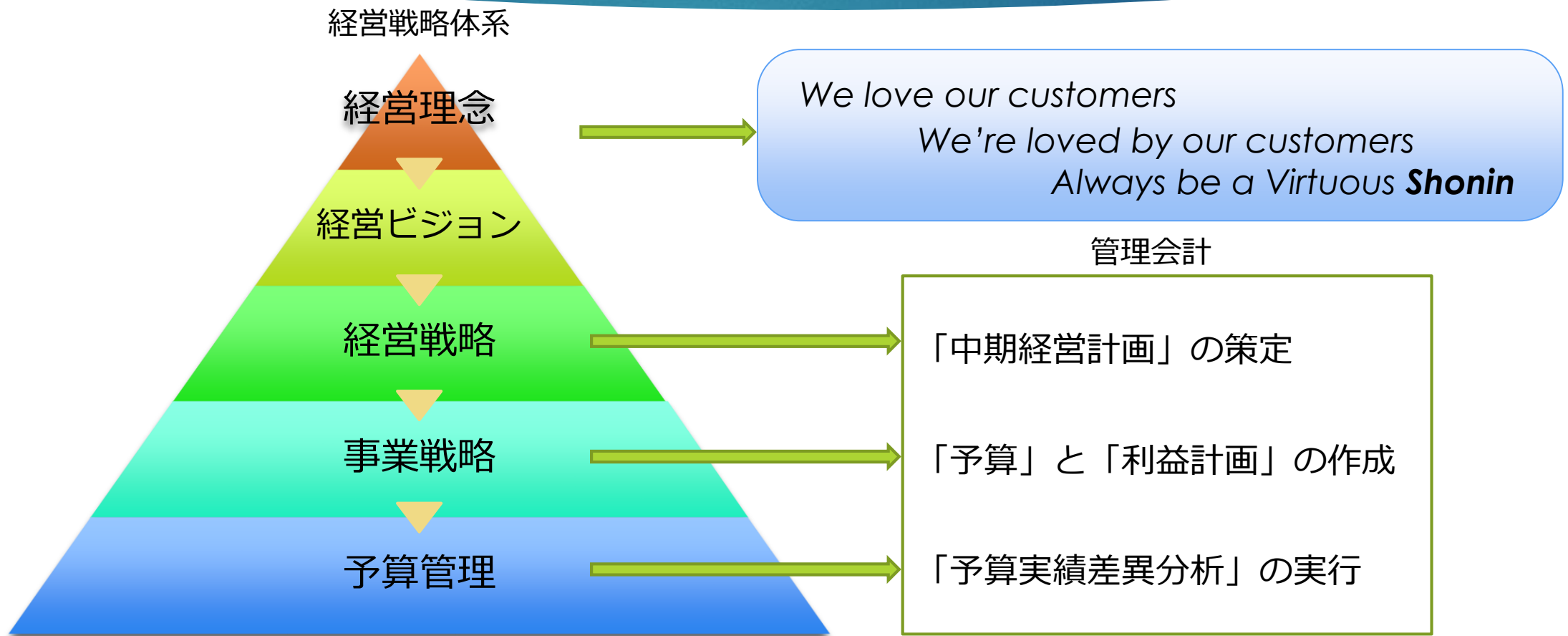
Virtue as a Shonin

It is important for us to have Virtue as a *Shonin* in order to secure our customers' approval and support at all times.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステークホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

管理会計をもちいた経営戦略



TOP MESSAGE

大型M&Aによる世界再編、米食品医薬品局（FDA）が発表した法案に揺れているタバコ業界、、、電子タバコや加熱式タバコの認知度も高まり、煙・匂いの出ないタバコの開発も進んでいることから紙巻タバコからの大転換期を迎えようとしている。

そんな中街を歩くとまだまだポイ捨てされた吸い殻が目につく。中には火がつき煙が立ち込める吸い殻もある。目を移すとそこには灰皿化した側溝が。。。浄水技術も進歩しているとはいえ土壌、河川、海への流出による汚染は免れないであろう。当事者意識が微塵も感じられない行為者は自ら痛い目に遭っても気づかず責任転嫁するのだろうか。タバコの変革（無害化）には期待したいが、今一度、マナーやモラルといった言葉の意味を理解することから始め、一人ひとりが日々、感謝や報恩、思いやりなどの心づかいや行いを一つひとつ積み重ね次世代に繋いでいくことへの大転換も期待したい。

SANSHIN DENKI COO・CFO
SHIN KOWA/CSI COO
加来 孝

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

2016年（平成28年）度、日本のアルミ缶リサイクル率は92.4%だったそうです。一方で発砲スチロール製食品トレー類の、リサイクル率は30%程度に留まるとのこと。日本人は環境意識は高いのですが、リサイクルシステムの確立が追い付いていない現状があるように感じました。環境活動は技術だけでなく、負荷低減の仕組みづくりにも期待しています。（Y.Y.）

SANSHINCentre

名古屋最大の環境イベント「環境デーなごや2017」が栄の名古屋テレビ塔下やエンゼル広場など久屋大通公園一帯で開かれました。レジ袋削減と海洋汚染を知ってもらおうと、市環境局職員が作詞、作曲した「エコソング」を名古屋市立大のアカペラサークルが披露するステージもありました。色々な企画があるようで、来年も楽しみです。（M.M.）

CSI

セブ島とマクタンを結ぶ橋ゴールドバブリッチ（Cebu Cordova Link Expressway）の建設が始まりました。完成するのは2020年を予定。セブとマクタン間に2本の橋が通っていますが相変わらず昼夜問わず渋滞してますので、渋滞緩和を期待しております。（K.S.）

SC2

先週まで30℃近い真夏の気温が、数日で12月の気温に急降下。普通10月ならジャケットや薄手のコートで充分なのに、今年は早々とダウンが登場。本当に温暖化?!と見えない相手に突っ込みを入れながら元気に風邪ひき中です。皆様ご自愛ください。（M.I.）

SANSHINWest

暖房器具が恋しい季節が近づいてきました。我が家ではこたつ派ですが、寒い日はガスファンヒーターを併用します。とても暖かく、他の暖房器具に比べてCO2排出量が少ないのですが、更に環境に配慮した生活を送れる努力をしようと思います。（K.M.）

SHINKOWA

10月に入り気温の寒暖差が大きい日がありました。日中30℃近く気温が上がる日もあれば10℃台になることもあり、家を出る時に服を選ぶのに迷います。これからは寒くなって行くと思いますので体調を崩さないよう体調管理をしていきます。この気候は異常気象なのでしょうか...。（M.N.）

SANSHIN HongKong

SHKでも海外の法人として初めてEco-Stageの認証を受けておりますが、今回、エコステージ協会は11月15.16.17日にビッグサイトでブースを借りてPRを行うとの事、そのブースに優秀企業のパネルを貼るようですが、SHKを推薦頂きました。（A.A.）

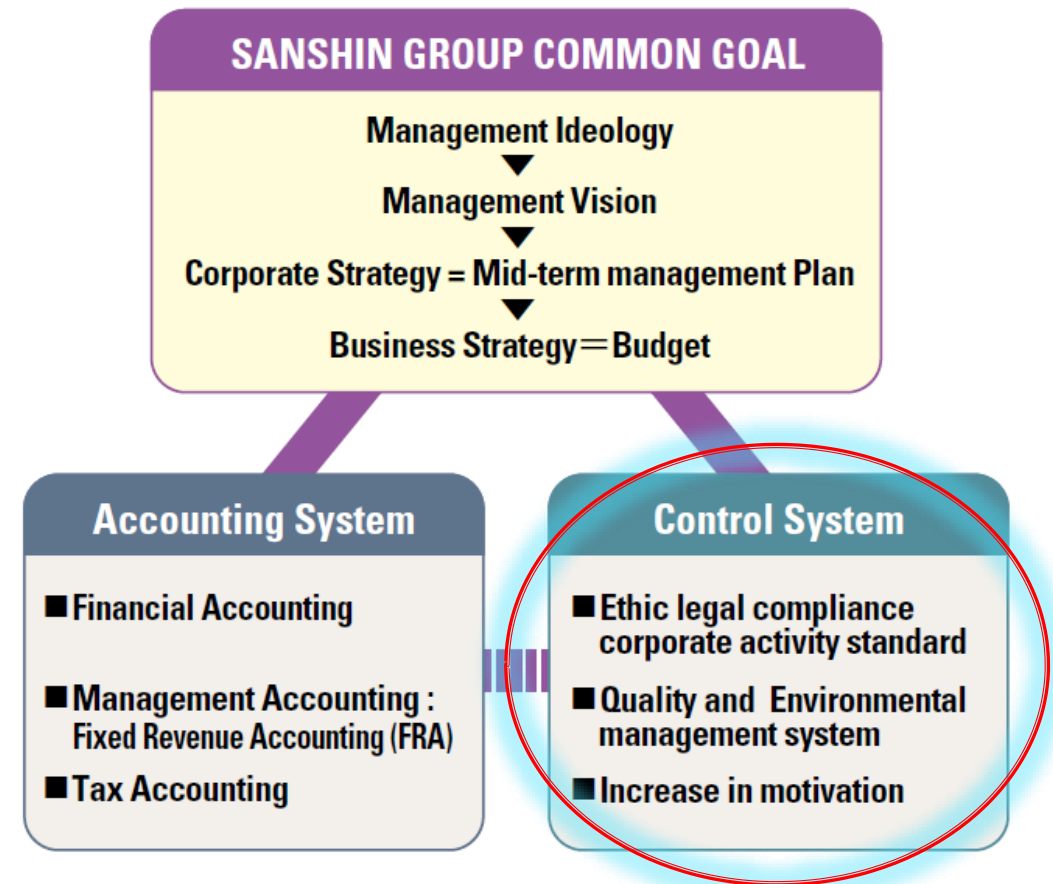
SFS

ヘナ美容室に髪を染めに行ったら美容師さんの様子がおかしい。「ヘナのアレルギーになってしまって」なんとおそろしい！お話を聞くとパン食が多いそうで、グルテンを極力摂らずに腸のダメージを回復させるようアドバイスしました。原物質の接触も注意ですが、大元の腸内環境はやっぱり大事です！（M.I.）

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



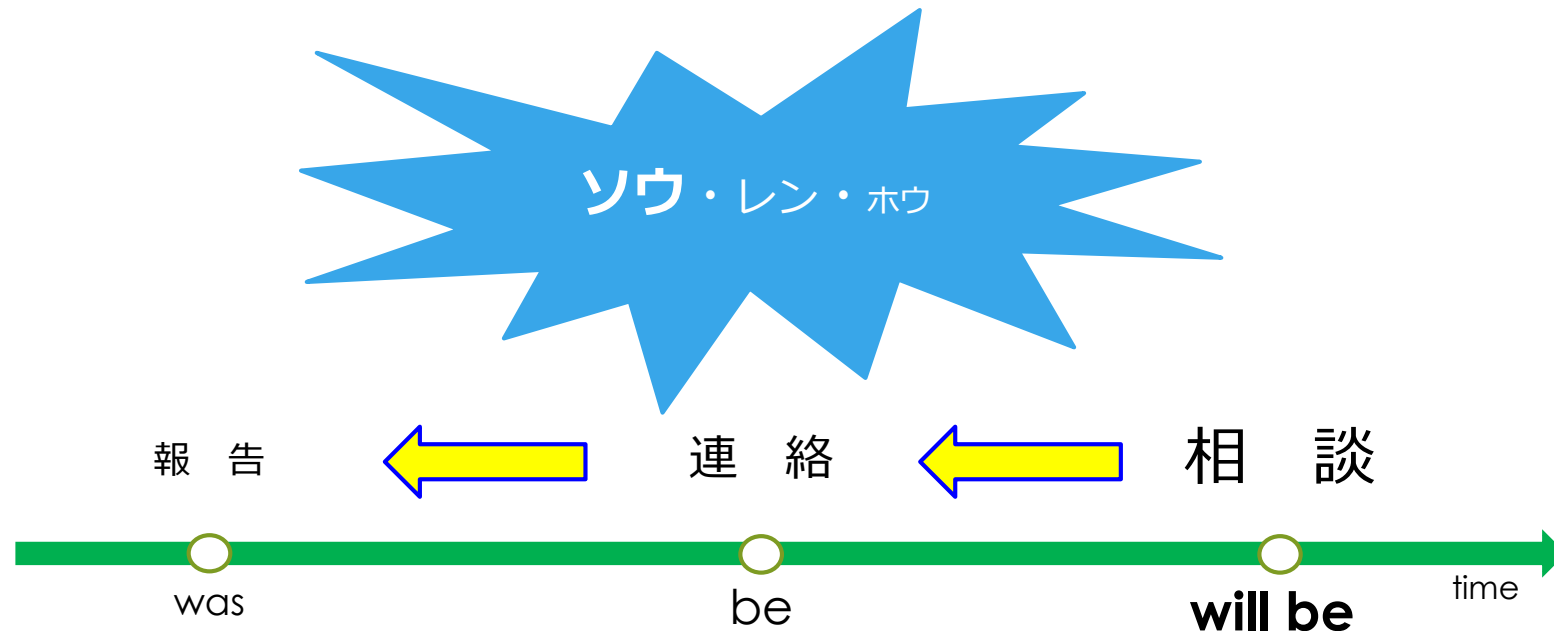
サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



CSR Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

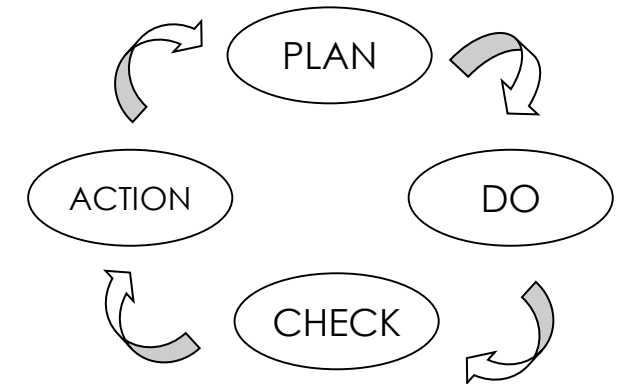
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

TOPICS

見える化で更なる高みを目指す

今や国内のみならず海外でも大人気となっている日本酒「獺祭（だっさい）」が、実は日本酒造りに欠かせないと言われる杜氏（とうじ）が不在の酒蔵で作られていることをご存知でしょうか。

ノウハウの見える化

酒蔵での酒造りは伝統的に杜氏と呼ばれる酒造りの最高責任者が中心となって職人の仕事として行われています。以前は、杜氏の経験に頼った製造をしていたそうですが、その杜氏がいなくなってしまったことをきっかけに、杜氏がない状況で酒造りをするようになったようです。

杜氏がない酒造りを進める中で**データ管理に力を入れた**ことが、「獺祭」が成功するうえで大きなポイントになったと思われます。杜氏の経験に頼った酒造りでは、基本的に酒造りのノウハウは杜氏の頭の中にあります。頭の中にあるからこそ、その杜氏抜きには酒が作れないということになるわけです。

数値で管理することで、酒造りのノウハウが見えるようになれば杜氏抜きでも酒造りができるようになり、改善点も見えるようになるため、**根拠を持って品質を追求することができる**ようになります。

杜氏の勘に頼った酒造りでは、年により品質にばらつきが出るが、データで管理された獺祭にはそれがない。

酒造りの工程は、「洗米→蒸米→麴造り→仕込み→上槽→瓶詰」という流れで構成されており、米を水洗いする洗米の工程ではお米の重さや洗う時間、使う水の温度などを数値で管理し洗米後の米の持つ水分を**0.3%以下の精度**で厳密にコントロールしているそうです。お米の水分量0.3%以下というのは、試行錯誤の上で算出された基準値だと思われます。このように数値化することが、**品質の維持・向上にもつながる**ということです。

酒造りのノウハウをデータ化（見える化）することで、美味しい日本酒を作ることになり、上質なお酒の大量生産を実現しました。さらに、大量生産のデータを蓄積し、改善に活用することで品質の向上に役立てています。まさに「見える化」が、「獺祭」の成功の要因の一つであるといえるでしょう。



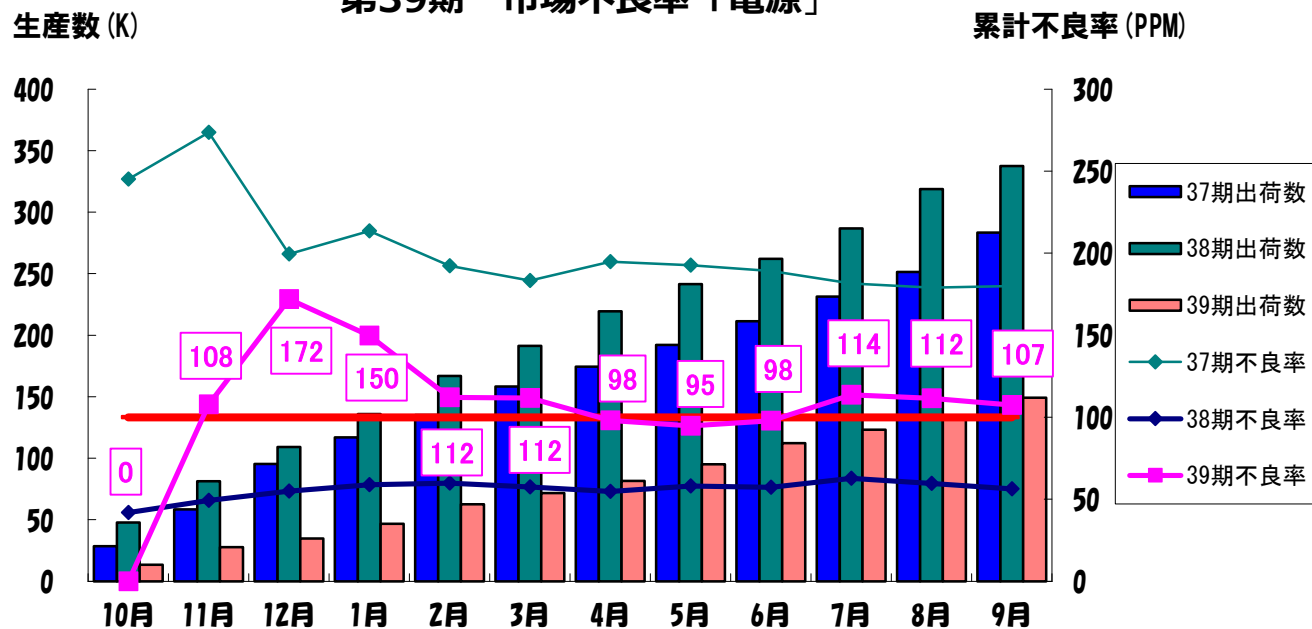
品質状況

納入不良率 目標.....100ppm

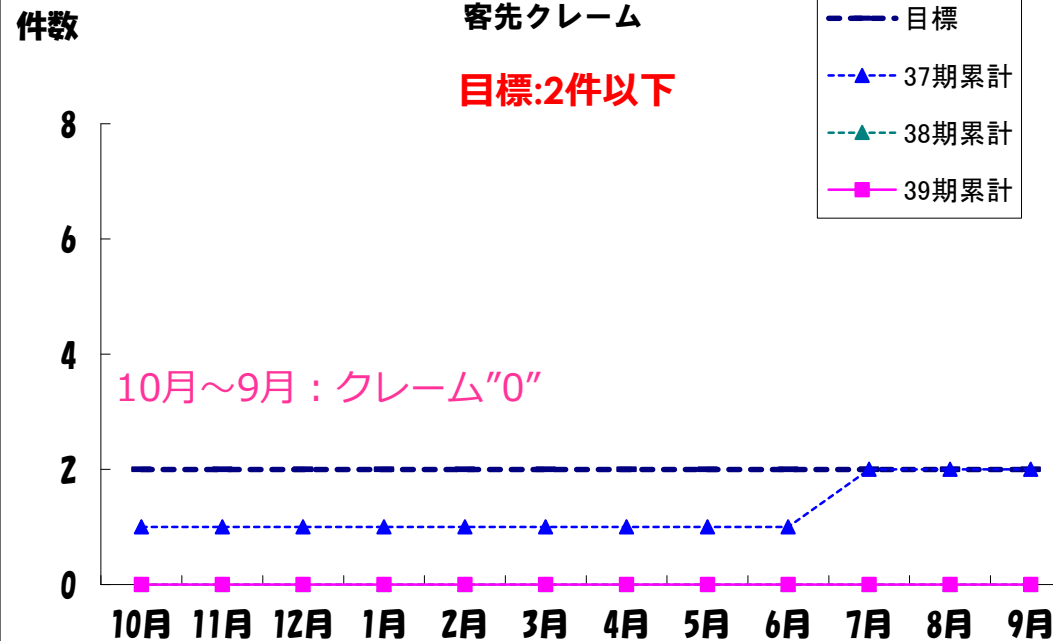
39期の累計不良率は、107ppm です。

市場不良累計 : 16件 客先クレーム : 0件

第39期 市場不良率「電源」



客先クレーム



活動報告 (Log/CS PJT)

■ 「注意力」のマネジメントとは

言葉遣いや伝える内容に細心の注意を払って書いたメールなのに、送った直後、とんでもない誤字があったことに気づいた—。「あれっ、なんでこんな間違いを……」と落ち込むでしょう。これは、いったいどうしたら防げるのでしょうか？

注意にかかわるミスであり、「うっかりミス」や「見落とし」などを「アテンションミス」といいます。ミスの規模は小さくても、ミスの代償は大きな損害や事故につながることも少なくありません。

たとえば巨大システムのプログラムミス。ほんの1行分の誤りが、銀行のATMシステムや飛行機の運航システムなどをダウンさせて、何十万、何百万もの人に影響を与えたりもします。または証券会社の営業担当者が犯した入力ミスが、数百億円の損害をもたらしたこともあります。株価と株数の数字を入れ替えて入力してしまったミスでした。

コンピューターの普及とネットワーク化により、今の時代は「うっかり」が「うっかり」で済まされない時代になっているのです。

では、この「アテンションミス」はなぜ起きるのでしょうか。「もっと注意しろ」と言い聞かせて防ぐことができるなら苦労しませんが、そうはいきません。

最近の調査では、人は起きている時間の半分近くを、その時点で行っている活動とは無関係なことを考えているという結果が出ています。つまり、人は注意力が散漫になりやすいわけで、アテンションミスを減らし仕事で成果を出すには、

「注意」という貴重な資源をきちんとマネジメントする必要があります。

活動報告 (Log/CS PJT)

□注意のムダ遣いを減らす方法

1つの基本対策は、注意のムダ遣いを減らすことです。仕事でなかなか集中できないとき、たいていの人は大小の心配事や関心事を抱えています。あれこれ考えすぎてキャパシティが足りていない状態です。こうした状態を回避するシンプルな方法があります。それは話す、または書き出す。つまりアウトプットすることです。なぜかという、注意力を支配している心配事や関心事を書き出すことで、それらを手放すことができるからです。結果、余裕を生み出し、情報の処理や思考が効率的にできるようになります。もちろん、書き出したからといって完全に頭から消え去るわけではありませんが、少なくとも負担は減らすことはできます。簡易なTO DOリストでも構いませんので、書き出してみてはいかがでしょうか（サンシン手帳も有効活用しましょう）。

□作業をしている時は、それだけに集中する

実行している作業だけに集中する癖をつけましょう。最初は難しくても、時間を決めて、その時間の間だけは集中するという練習を行うことでかなり上達していきます。もちろん何時間も集中できる方なんていませんので、10分単位で区切って決めていきましょう。実際に、ダラダラと時間をかけて仕事を終えるよりも、集中してメリハリをつけて仕事をしたほうが気持ちいいですし、達成感も違ってきます。

□中途半端のススメ

今日の仕事が終わったら、明日の分に少しだけ手を付けてから帰りましょう。といっても長時間の残業を勧めているわけではありません。文章なら「最初の一行」。資料の作成なら「テンプレートを選んでファイルを新規に保存するだけ」、せいぜい10分以内に出来る作業で十分です。なぜなら、人のやる気には、「**最初の動き出しに一番エネルギーを使う**」という性質があるからです。やる気は思っているよりも、ずっとスロースターターです。それは性格のせいではなく、そういう性質のものと知りましょう。自身の性格を変えなくても、10分明日の作業に手を付けるだけで、自分のやる気が思い通りに動き出してくれるようになります（この「終わっていない仕事や達成されていない目標は、頭に浮かびがち」という現象をザイガルニック効果といいます）。

CSR Report (環境)

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

- ①環境への取り組み
- ②TOPICS
- ③廃棄物排出量
- ④コピー用紙使用量
- ⑤電力使用量
- ⑥切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



TOPICS

□ 「PM2.5」による大気汚染健康に及ぼす影響と日常生活における注意点

最近、中国におけるPM2.5などによる深刻な大気汚染の発生を受け、大陸の大気汚染が影響して日本のPM2.5濃度が上昇し、健康に影響を及ぼすのではないかと心配されています。そこで気になるのは、PM2.5が健康にどのような影響を及ぼすのか、住んでいる地域のPM2.5濃度を知るにはどうすればよいのか、そして影響を防ぐための効果的な方法とは何か。知っておきたいPM2.5の基本知識と、日常生活の中でできる対策方法をご紹介します。

■ 微小粒子状物質「PM2.5」とは

PM2.5は直径 $2.5\mu\text{m}$ ($1\mu\text{m}$ (マイクロメートル) = 1mm の1000分の1) 以下の非常に小さな粒子です。PMは「Particulate Matter (粒子状物質)」の頭文字をとった言葉です。

①成分

炭素成分、硝酸塩、硫酸塩、アンモニウム塩のほか、ケイ素、ナトリウム、アルミニウムなどの無機元素などが含まれます。

②主な発生源

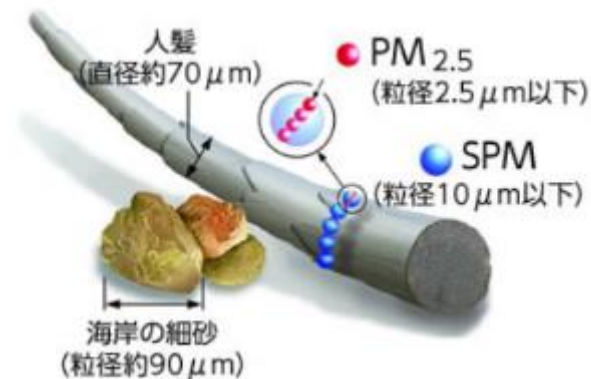
(1) 物の燃焼などによって直接発生

- ・ボイラーや焼却炉などばい煙を発生する施設
- ・鉱物の堆積場など粉じん（細かいちり）を発生する施設
- ・自動車、船舶、航空機
- ・土壌、海洋、火山の噴煙など自然由来のもの
- ・喫煙や調理、ストーブの使用など家庭から など

(2) 様々な物質の大気中での化学反応によって生成

- ・火力発電所、工場や事業所、自動車、船舶、航空機などから燃料の燃焼によって排出される硫黄酸化物、窒素酸化物
- ・溶剤や塗料の使用時や石油取扱施設からの蒸発、森林などから排出される揮発性有機化合物 など

これらのガス状物質が大気中で光やオゾンと反応し、PM2.5が生成されます。



PMの大きさ（人髪や海岸細砂）との比較（概念図）
出典：米国EPA資料

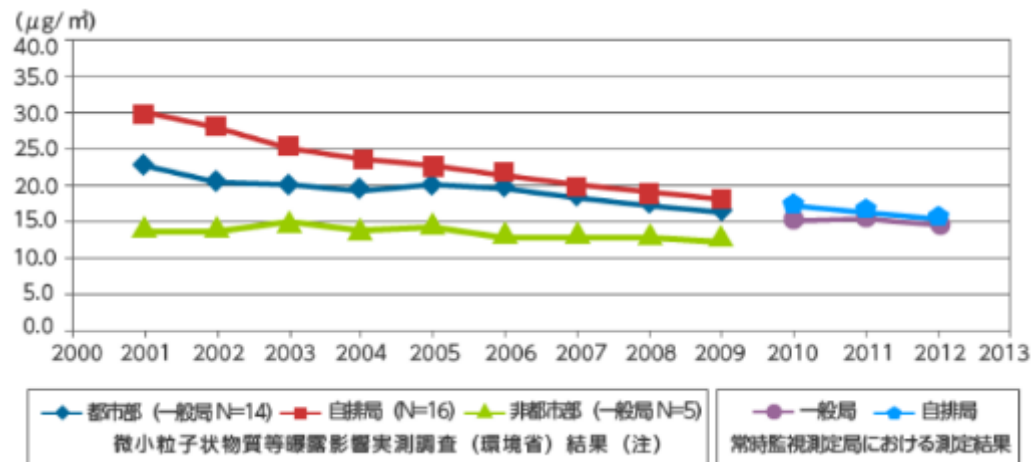
TOPICS

■ 肺の奥深くに入り込むおそれ—健康への影響

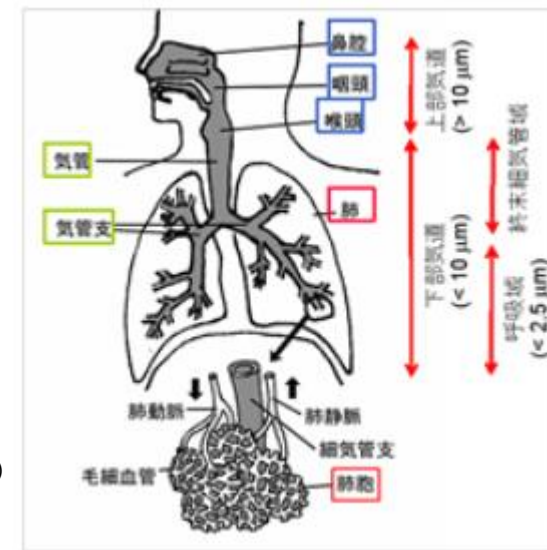
PM2.5は粒子の大きさが非常に小さいため、肺の奥深くにまで入り込みやすく、ぜんそくや気管支炎などの呼吸器系疾患や循環器系疾患などのリスクを上昇させると考えられます。特に呼吸器系や循環器系の病気をもつ人、お年寄りや子どもなどは影響を受けやすいと考えられるので、注意が必要です。

■ 春は濃度が上昇する傾向

日本国内のPM2.5の濃度は、従来から取り組んでいる工場・事業場などのばい煙発生施設の規制や、自動車排出ガス規制などによって年間の平均的な濃度は減少傾向にあります。



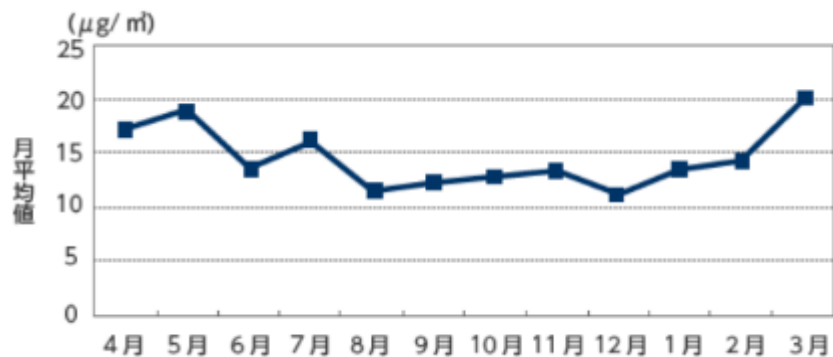
人の呼吸器と粒子の沈着領域 (概念図)
資料: 環境省ウェブサイト



微小粒子状物質における年平均値の推移
資料: 環境省

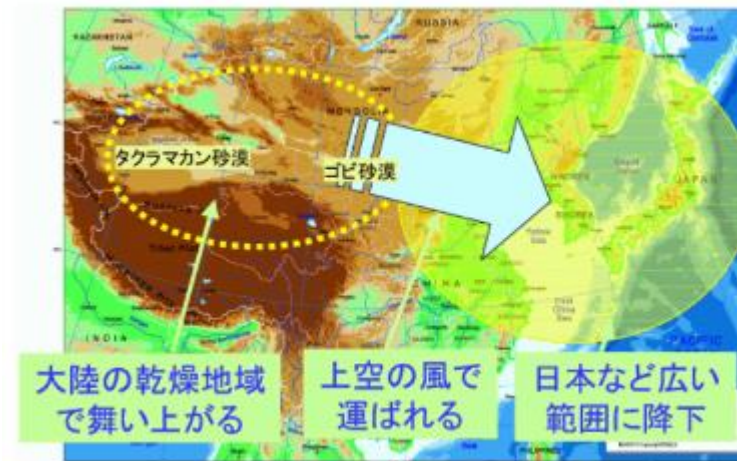
TOPICS

PM2.5濃度は季節による変動があり、例年、3月から5月にかけて濃度が上昇する傾向がみられ、夏から秋にかけては比較的安定した濃度が観測されています。



微小粒子状物質の月平均値の推移（平成24年度 一般局）
資料：環境省

春先には黄砂も飛来するので注意が必要です。黄砂は、東アジアの砂漠域（ゴビ砂漠、タクラマカン砂漠など）や黄土地帯から強風により大気中に舞い上がった黄砂粒子が浮遊しつつ降下する現象を指します。日本では春に観測されることが多く、時には空が黄褐色に煙ることがあります。



資料：気象庁ウェブサイト「黄砂に関する基礎知識」

TOPICS

■ PM2.5に関する注意喚起のための暫定的な指針

環境省では、都道府県などの自治体が住民に対して注意喚起をするための「暫定的な指針となる値」として、「1日平均値70 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ （マイクログラムパー立方メートル）」を示しています。これは、PM2.5濃度がこれを超えると健康影響が生じる可能性が高くなると考えられる濃度水準です。ただし、この濃度を超えたからといって、全ての人に必ず影響が生じるというものではないことに留意が必要です。高感受性者への影響には個人差があり、子どもや高齢者、呼吸器系や循環器系の病気をもつ人などは、これより低い値でも健康に影響を及ぼす可能性があります。

注意喚起のための暫定的な指針

レベル	暫定的な指針となる値	行動のめやす	注意喚起の判断に用いる値※3	
	日平均値($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		午前中の早めの時間帯で判断	午後からの活動に備えた判断
			5時～7時	5時～12時
			1時間値($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	1時間値($\mu\text{g}/\text{m}^3$)
II	70超	不要不急の外出や屋外での長時間の激しい運動をできるだけ減らす。 (高感受性者※2においては、体調に応じて、より慎重に行動することが望まれる。)	85超	80超
I	70以下	特に行動を制約する必要はないが、高感受性者は、健康への影響がみられることがあるため、体調の変化に注意する。	85以下	80以下
(環境基準)	35以下※1			

自治体から注意喚起が行われたら、次のような対応を行いましょう。特に幼児や高齢者、呼吸器系や循環器系の疾患のある人は、体調に応じて、より慎重に行動しましょう。

屋外にいるとき

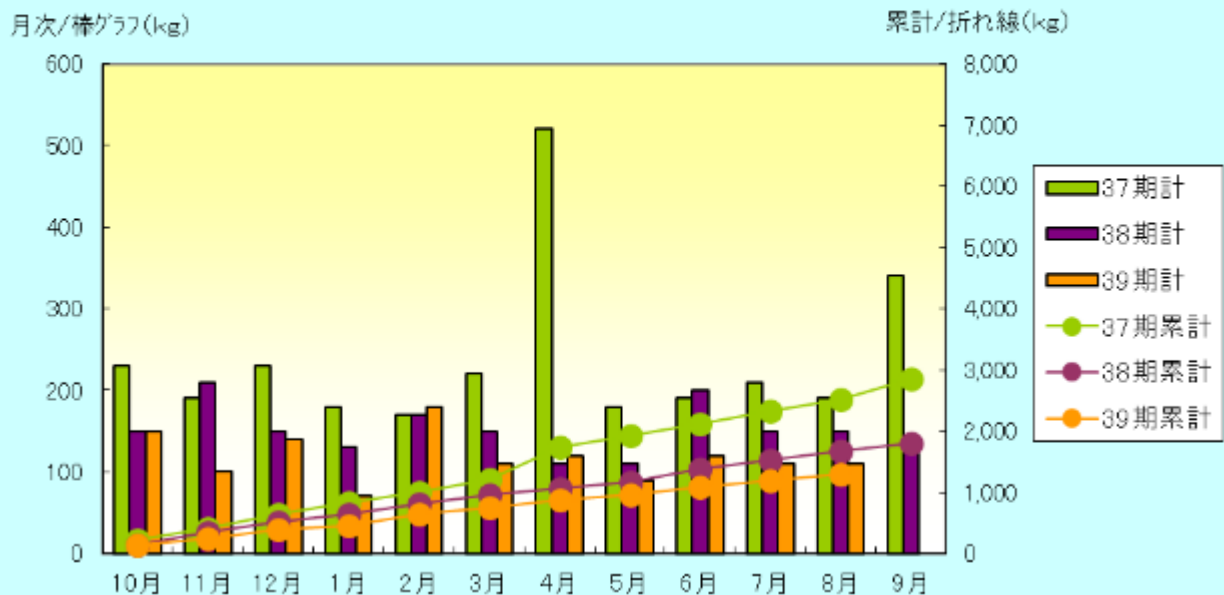
- ☑PM2.5を大量に吸い込まないように、長時間の激しい運動を減らす
- ☑マスクを着用する

屋内にいるとき

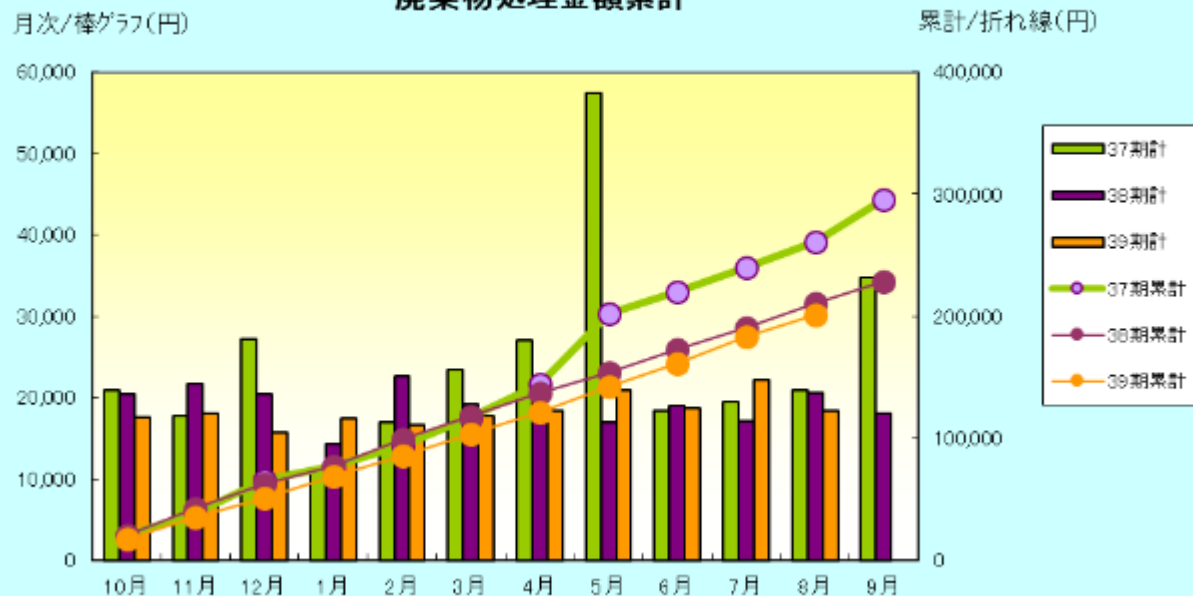
- ☑不必要な外出はできるだけ控える
- ☑換気や窓の開閉を必要最小限にする

※1 環境基準は環境基本法第16条第1項に基づく人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準
PM2.5に係る環境基準の短期基準は日平均35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、日平均値の年間98パーセンタイル値で評価
※2 高感受性者は、呼吸器系や循環器系疾患のある者、小児、高齢者等
※3 暫定的な指針となる値である日平均値を超えるか否かについて判断するための値

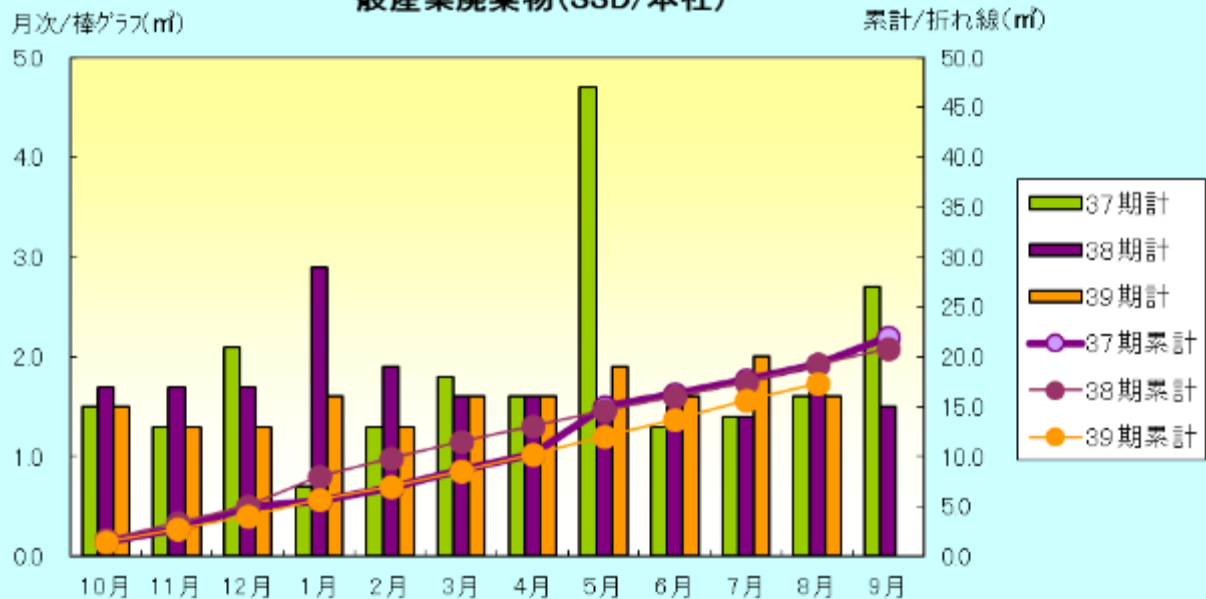
一般廃棄物(SSD/本社)



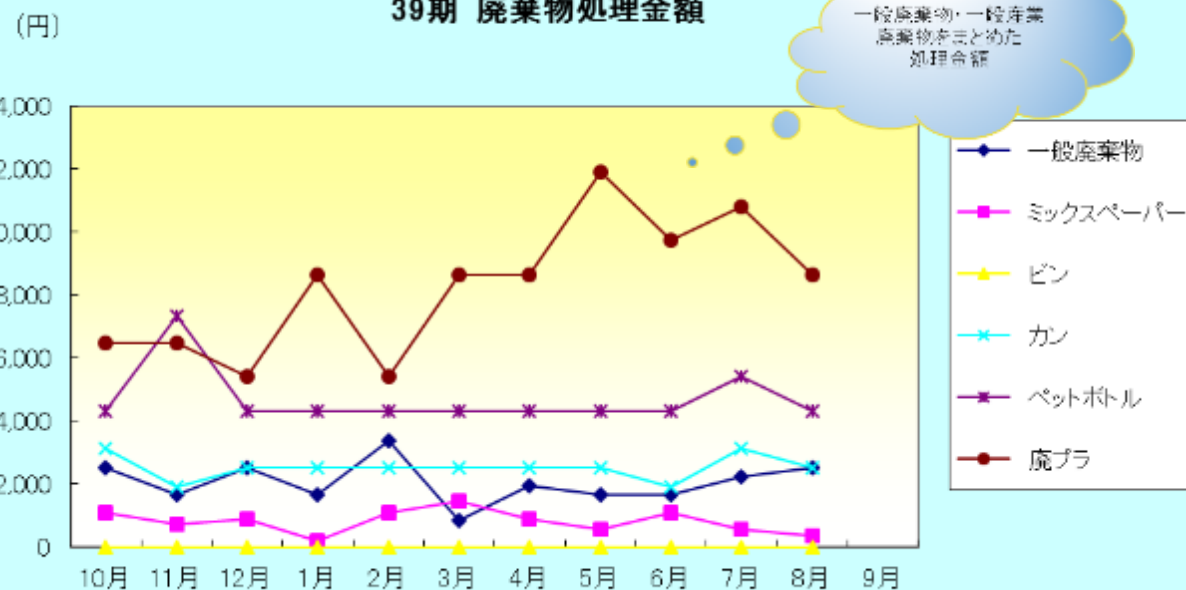
廃棄物処理金額累計



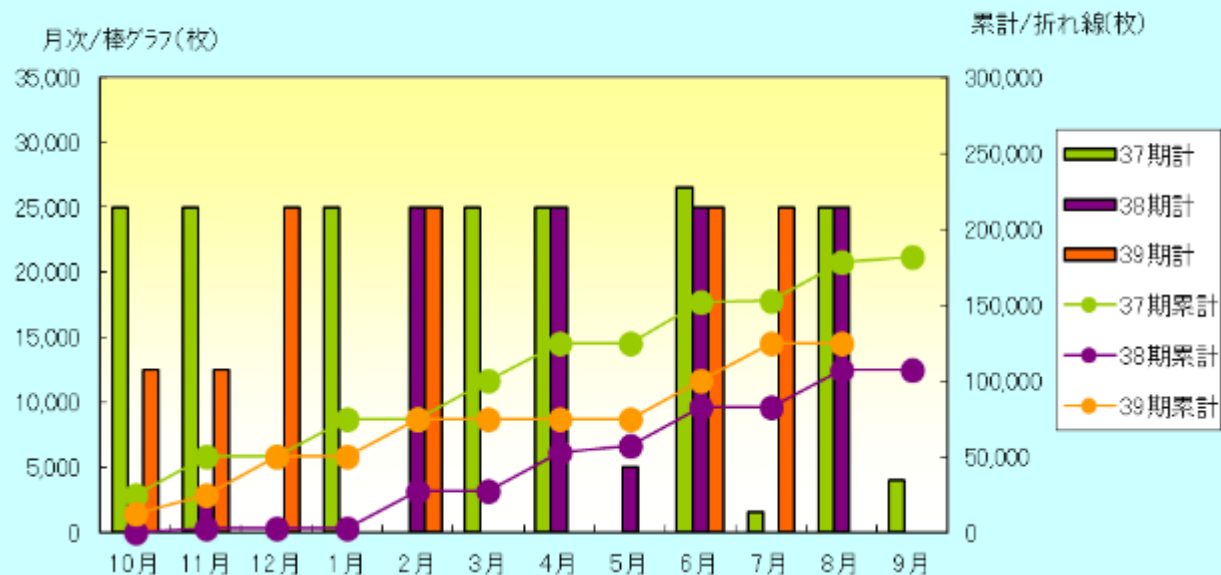
一般産業廃棄物(SSD/本社)



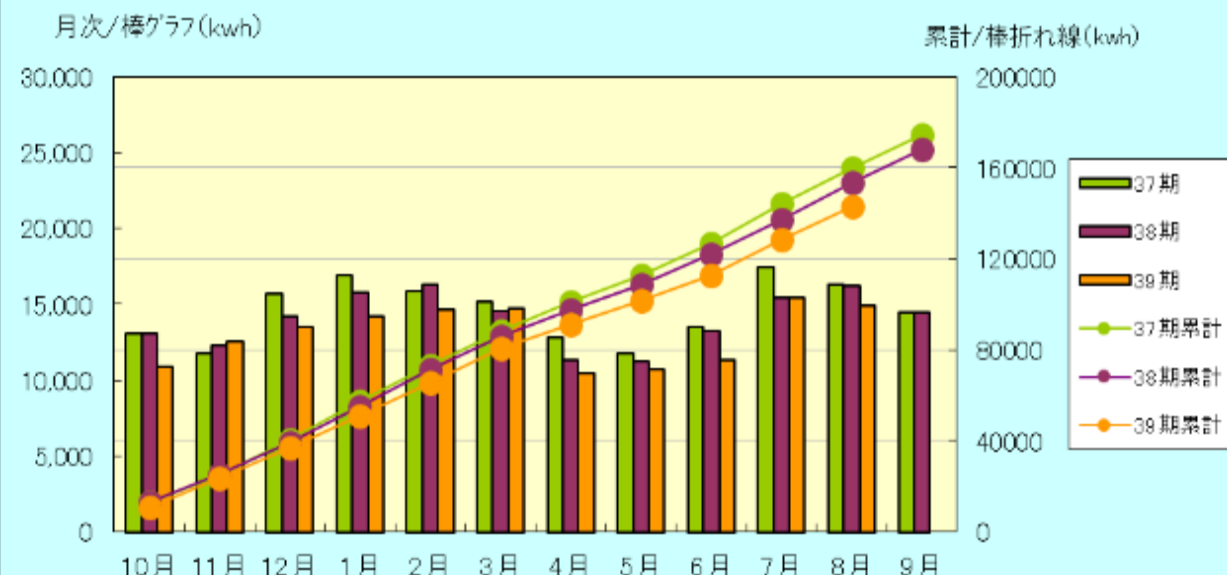
39期 廃棄物処理金額



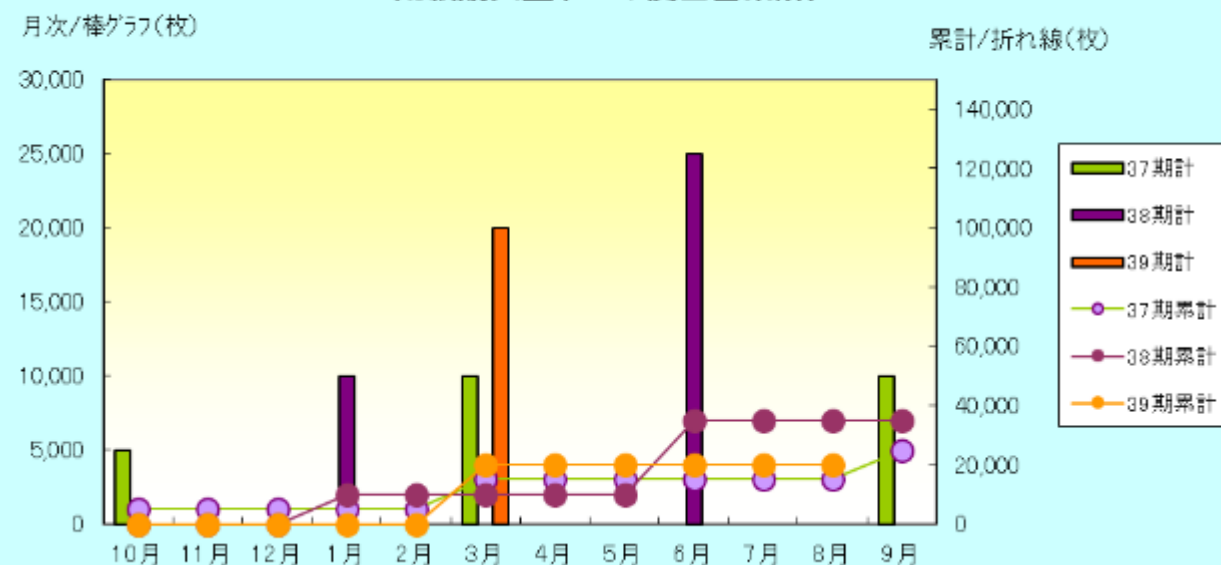
コピー用紙購入量(SSD/本社)



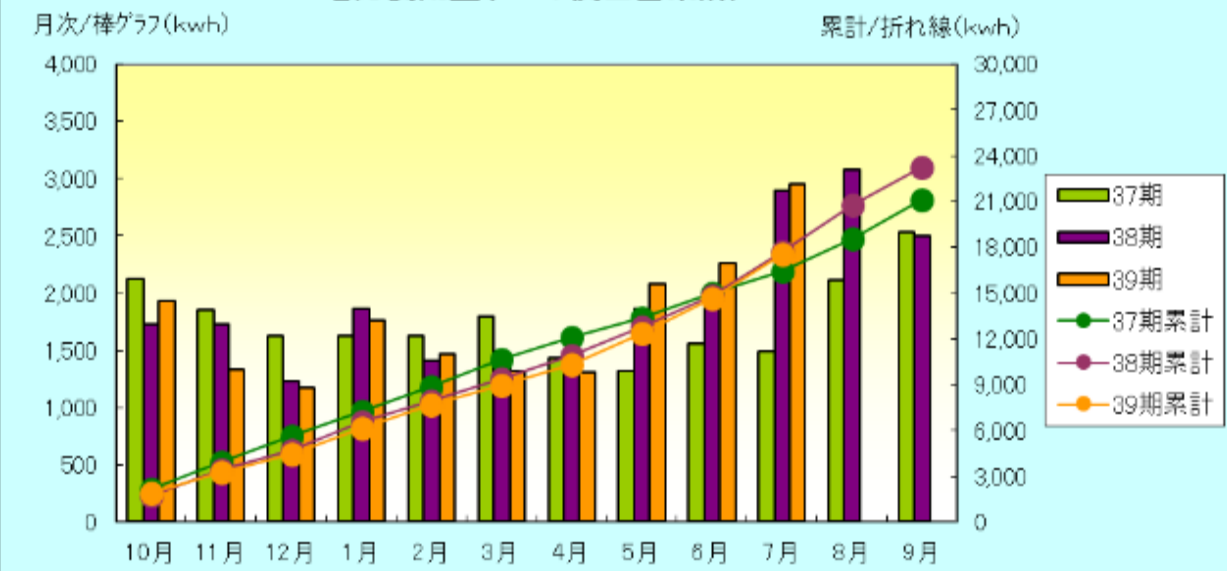
電力使用量(SSD/本社)



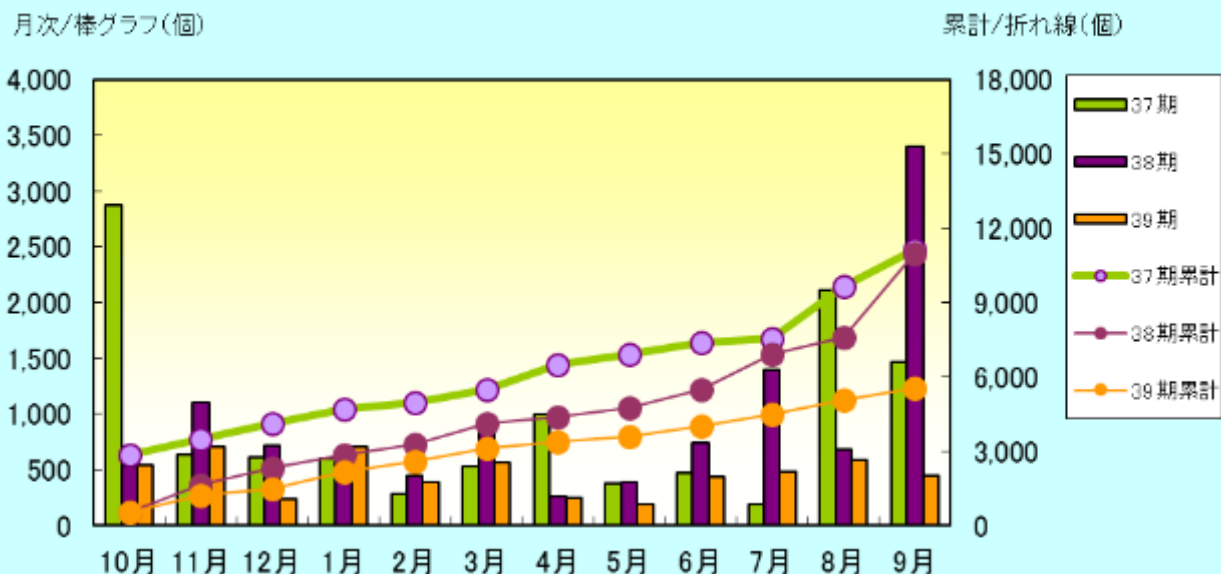
コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)



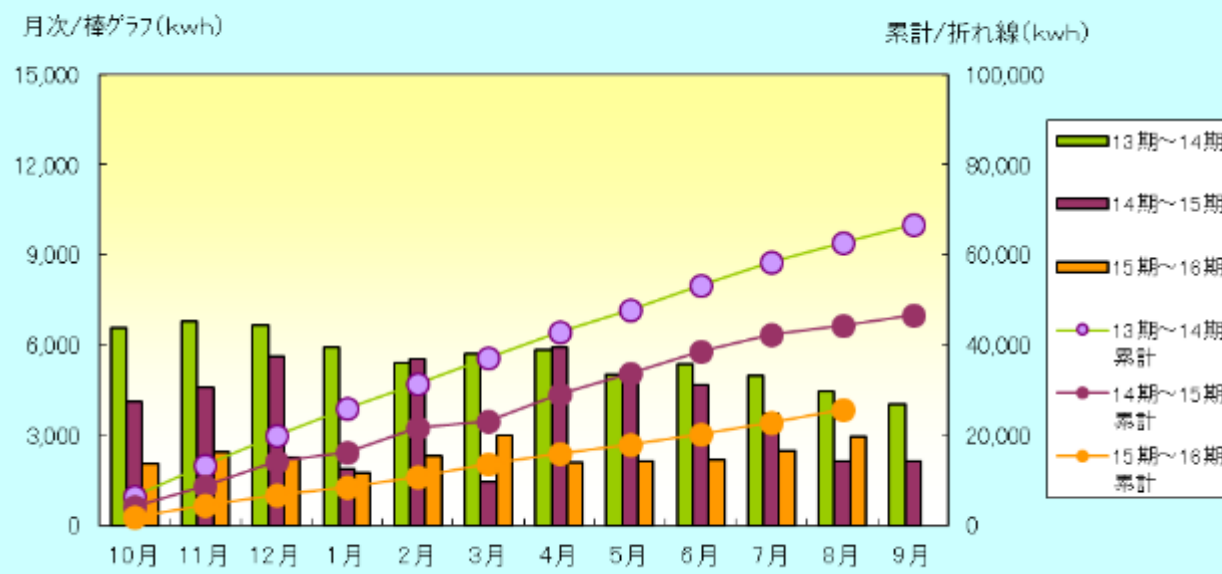
電力使用量(SSD/関西営業所)



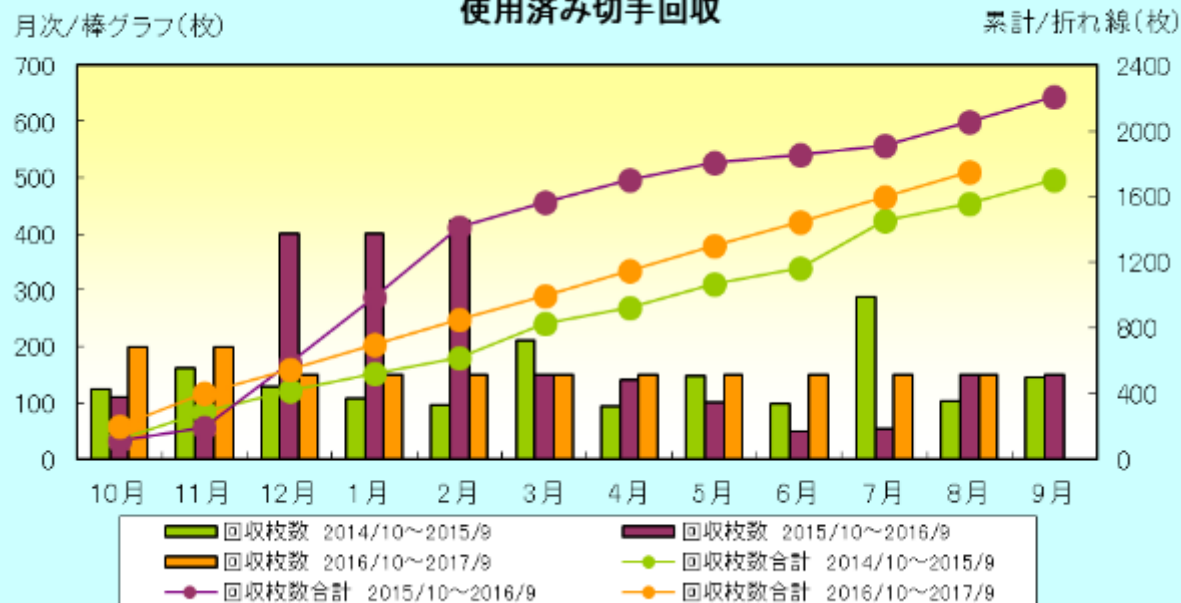
ペットボトルのキャップ



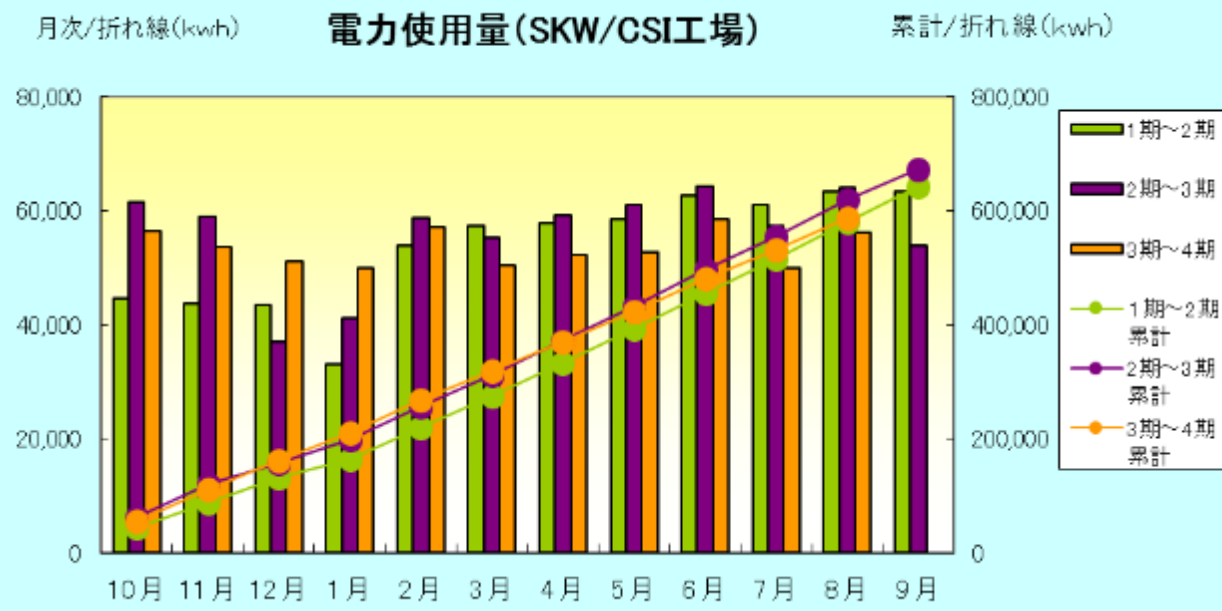
電力使用量(SKW/朝日工場)



使用済み切手回収



電力使用量(SKW/CSI工場)



CSR Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

活動報告

- ①TOPICS
- ②地域貢献活動
- ③ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ④人財育成への取り組み

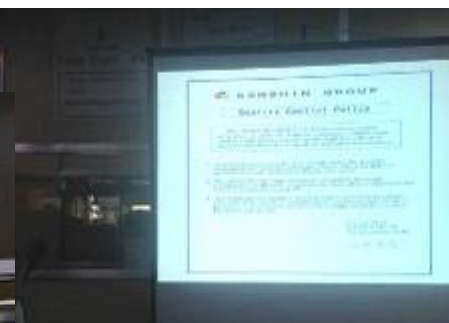
TOPICS

●2017年9月12日 CSI創立4周年式典が開催されました！

2017年9月12日 CSIで創立4周年式典を開催致しました。当日は佐々木工場長指揮のもと、品質/環境方針の説明、前期実績について、また廃棄物の分別などの報告がありました。その後は食事会、経営理念・ビジョンや品質に関するクイズなど祝宴が催され、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。まだまだ未熟なところもございますが、社員一同精進してまいりますので今後ともどうぞ宜しくお願い致します！



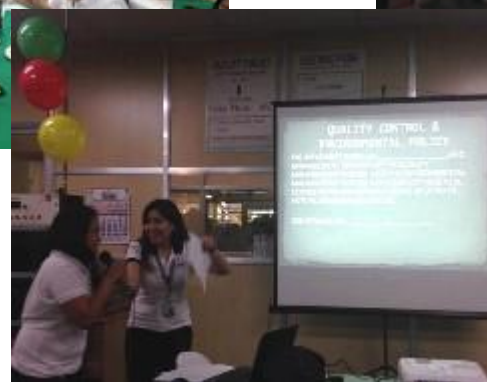
廃棄物分別の説明



環境方針の説明



食事会のようす



品質方針クイズなども行われました



今後とも宜しくお願い致します！

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（9月参加人数：延べ11名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（シグマ・フード・サービス）
- 動物介在ボランティア活動実施（シグマ・フード・サービス）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ：ハロウィン&紅葉（10月）

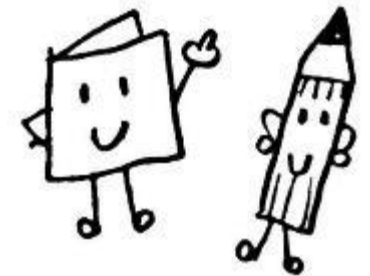


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績4名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績4名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養してる社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 毎月1回、マッサージ・リフレクソロジーサービスを実施（女性を中心に毎月10名参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コース1（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2017年5月）
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2017（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年8月）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・英会話・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAを全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能



SSD, CostCentre Y.Y.

10月に入ってから朝晩もだいぶ冷え込み、いよいよ秋の深まりを感じます。さて、10月は年間で最も気象変化が大きい時節だそうです。初旬は秋雨前線が停滞して天気がぐずつきますが、中旬以降は高気圧と低気圧が交互に通過し、周期的な天気変化となります。下旬になると、一時的に西高東低の気圧配置となり、北日本を中心に、初霜や初氷、初冠雪、初雪の便りが届くようになります。季節の変わり目ですので、急な温度変化で体調など崩さないよう、ご注意下さい。